

第15回（2019年度）協会活動有功賞受賞者

協会活動有功賞は、当協会の運営、事業等の活動で顕著な貢献のあった者を表彰することにより、会員の協会活動に対する参加意欲の増大を促すとともに、協会活動の更なる発展を図ることを目的として創設されたものです。

なかにま やすし
中島 靖 氏（第一稀元素化学工業（株））

関西支部での行事企画運営・交流推進による活動活性化への貢献



中島靖氏は2006年度より2年間、日本セラミックス協会関西支部事務局を務めた後、5年間、関西支部企画委員を務め、現在は支部監事に就いている。この間、同氏は継続して関西支部活動の活性化や企業の会員増強の活動を強く推進してきた。支部賛助会員特典を定めた支部規約の改訂や、関西支部主催行事終了後の要旨集の一般向け販売、企業への案内や広告依頼などを積極的に行うことで、学生や企業からの行事参加者数を増大させたのは大きな業績の一つである。また同氏は、関西支部運営のみならず、企業の研究開発担当者として、関西地区の大学との協業など、関西地区のセラミック関連の産学連携活動も積極的に行い、セラミック産業発展のためのネットワークづくりを強力に推進している。また、同氏は関西支部行事において招待講演を行うなど、学術分野においても協会活動に大きく貢献している。さらに、同氏は他学協会の理事や企画委員を併任しており、それらの活動の中で関西支部行事の広告宣伝を行うなど、他学協会と日本セラミックス協会の交流に大きな影響を与えている。同氏のこれらの活動は協会活動有功賞に値するものとしてここに推薦する。

略歴 1990年鳥根大学大学院理学研究科修士課程修了、同年第一稀元素化学工業（株）入社、1997年熊本工業大学大学院工学研究科社会人博士課程修了、同年工学博士、2018年研究開発室室長、現在に至る。

のま たつお
野間 竜男 氏（東京農工大学）

セラミックス大学の長年にわたる企画運営および活性化に対する貢献



野間竜男氏は、1991年から現在までセプロ小委員会委員を務め、そのうち2011年から2012年まではセプロ小委員会の主幹を務め、セラミックス大学の企画・運営に携わってきた。具体的に講義スケジュールの調整、講師・テーマの選定等の運営全般である。また、1995年から1996年、1999年から2002年、2000年から2003年までは講師も務めた。セラミックス大学は、セラミックスの研究や開発などに従事されない企業の方や学生などの入門者向けの講習会であり、セラミックス化学の基礎、合成法の基礎とノウハウ、結晶構造と物性、用途・応用などについて、それぞれの専門分野での豊富な経験を持つ大学教員や企業の研究者・技術者が7日間で全21回の講義の中でエッセンスを解説する。同氏はセラミックス大学を実施するための企画や運営に29年間の長きにわたり携わっており、年々と受講者が増加しておりセラミックス大学の活性化に大きく貢献している。以上の活動により協会の推進するセラミックスに関する教育啓発活動およびその活性化に大きく貢献した。よって協会活動有功賞に値するものとしてここに推薦する。

略歴 1983年東京工業大学大学院総合理工学研究科修士課程修了、1984年同博士課程中退、1984年東京工業大学助手（工業材料研究所）、1990年東京農工大学専任講師（工学部）、1996年同大学助教授（工学部）、2000年同大学教授（現・グローバル教育院）現在に至る。